

A科:動物科学科 B科:植物科学科 C科:食品科学科 D科:人間科学科 E科:環境科学科

教科	工業	科目	地球環境化学	単位数	2	学年・学科	3学年・E科(選択)
教科書	実教出版「地球環境化学」		副教材				

学習目標	環境保全技術、廃棄物の処理と有効活用、持続可能な社会、SDGsについて学び、諸課題の解決に向けて考えます。
学習方法	教科書や情報端末を使って知識を習得し、資料を収集して最新のニュースや身近な話題と結び付け、諸課題の解決に向けて考える主体的な活動、発表等を行うことで理解を深めます。

学習評価	評価の観点	評価の観点の趣旨	重み付け				
			100%	70%	30%		
学習評価	a 知識・技能 (専門教科は知識・技術)	環境保全技術、廃棄物の処理と有効活用、持続可能な社会、SDGsについて理解し、多面的に資料を収集し、比較検討することができる。	前期	知識・技能(技術)	40%	30%	10%
			中期	思考・判断・表現	30%	20%	10%
			後期	主体的に学習に取り組む態度	30%	20%	10%
			前期	知識・技能(技術)	100%	70%	30%
			中期	思考・判断・表現	40%	30%	10%
			後期	主体的に学習に取り組む態度	30%	20%	10%
	b 思考・判断・表現	地球環境、人類が抱える諸問題の解決について思考を深め、自分の考えを表現することができる。	前期	知識・技能(技術)	40%	30%	10%
			中期	思考・判断・表現	30%	20%	10%
			後期	主体的に学習に取り組む態度	30%	20%	10%
			前期	知識・技能(技術)	100%	70%	30%
			中期	思考・判断・表現	40%	30%	10%
			後期	主体的に学習に取り組む態度	30%	20%	10%
c 主体的に学習に取り組む態度	地球環境、人類が抱える諸問題に関心を持ち、課題の解決に向けて実践しようとする態度が身についている。	前期	知識・技能(技術)	40%	30%	10%	
		中期	思考・判断・表現	30%	20%	10%	
		後期	主体的に学習に取り組む態度	30%	20%	10%	
		前期	知識・技能(技術)	100%	70%	30%	
		中期	思考・判断・表現	40%	30%	10%	
		後期	主体的に学習に取り組む態度	30%	20%	10%	

学期	単元名 (題材)	学習内容 (小単元)	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			a	b	c		
前期 中間	環境の保全技術	排ガスの処理について学びます。 排水の処理について学びます。 生産技術と環境保全について学びます。	○			環境の保全技術の意義を理解している。 環境の保全技術について資料を収集し、考えることができる。 環境の保全技術について関心を持っている。	課題レポート 考査
前期 末	廃棄物と環境	廃棄物の現状について学びます。 廃棄物の処理と有効利用について学びます。	○			廃棄物の有効利用の意義を理解している。 廃棄物の現状、処理、有効利用について資料を収集し、考えることができる。 廃棄物の有効利用について関心を持っている。	課題レポート 考査
後期 中間	持続可能な社会構築のためのしくみ	環境問題の取り組みについて学びます。 環境の管理と評価について学びます。	○			環境問題に対する国際的な条約や法律について理解している。 環境問題に対する国際的な条約や法律ができた背景について思考を深めている。 環境問題に対する事業者の果たすべき役割、社会の構築について関心を持っている。	課題レポート 考査
後期 末	SDGsについて	SDGsについて学びます。 世界各地、日本の諸問題の現状について学びます。 原因と解決に向けた取り組みについて学びます。	○			SDGsとは何か、人類が抱える諸問題の現状について理解している。 世界各地、日本の諸問題の発生原因について思考を深めている。 SDGsの取り組みについて関心を持ち、実践しようとする意欲がある。	課題レポート 考査